

⑨日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑫公開特許公報 (A)

昭54—144676

⑪Int. Cl.²
B 65 G 59/10

識別記号 ⑬日本分類
83(3) F 12

庁内整理番号
6729—3F

⑭公開 昭和54年(1979)11月12日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮マガジンの中に積重ねられたプリスタ型若しくはストリップ型のパネル又は類似製品を高速で個々に分離するための逃し装置

⑯特 願 昭53—155854

⑰出 願 昭53(1978)12月19日

優先権主張 ⑱1978年4月28日⑲イタリア
(IT)⑳3411A/78

⑳発 明 者 グリエルモ・マルテルリ
イタリア国ボローニャ・ヴィア
・ガイボラ13/3

㉑出 願 人 グリエルモ・マルテルリ
イタリア国ボローニャ・ヴィア
・ガイボラ13/3

㉒代 理 人 弁理士 伊藤輝 外3名

明 細 書

1. [発 明 の 名 称]

マガジンの中に積重ねられたプリスタ型若しくはストリップ型のパネル又は類似製品を高速で個々に分離するための逃し装置

2. [特 許 請 求 の 範 囲]

- (1) マガジンの中に積重ねられたプリスタ型若しくはストリップ型のパネル又は類似製品を高速で個々に分離するための逃し装置であつて、マガジンの底部に配置された少なくとも3つの支持装置を具備し、各支持装置は2つの上下に重なり合つた支持体で構成され、それら支持体の上方のものは下方支持体によつて形成される面に平行でそれより上方に横たわる面を形成し、前記支持体は、第1の位置においては上方支持体が積重ねの一番下のパネルを支持し、第2の位置においては上方支持体が引込められて前記一番下のパネルが下方支持体の上に置かれるようにし、第3の位置においては上方支持体が積

重ねの前記一番下のパネルのすぐ上に横たわるパネルを支持し、第4の位置においては下方支持体が引込められてその上に支持されていたパネルをパネルの取出し機構の上に置くように、パネル支持位置とパネル解放位置との間で駆動機構により移動されることを特徴とするものの、逃し装置。

- (2) 前記支持体の各々が、その軸を水平にして配置され電磁石により支持位置と解放位置との間で移動される一種の針状体によつて構成されているものの、第(1)項記載の逃し装置。
- (3) 前記支持体の各々が、その外周に沿つてねじ山を設けられそのねじ山の上にパネルの最端が乗るようになつている円板によつて構成され、前記円板は前記パネルの積重ねの軸に対して平行な軸のまわりで回転できるものの、第(1)項記載の逃し装置。

3. [発 明 の 詳 細 な 説 明]

本発明はマガジンの中に積重ねられたプリスタ

DES I AVAILABLE COPY

型若しくはストリップ型のパネル又は類似製品を
 高速度で個々に分離するための送り装置に関する
 ものである。錠剤、丸薬等特に医薬用のものは、
 プリスタ若しくはストリップとして知られている
 包装で市販されている。前者のプリスタは、錠剤
 用の座が一様な配列をなして形成されたプラスチ
 ック・シートから成り、アルミニウム箔によつて
 閉じられる。一方ストリップは、互に重ね合わせ
 て配置された2枚のアルミニウム箔で形成され、
 錠剤がそれらアルミニウム箔の間に密封される。
 これらの包装体はそれから、予め定められた数だ
 けまとめて箱の中に挿入するパネルを形成するた
 めに切断される。現在では、これらのパネルは垂
 直なマガジンの中に積重ねられ、或る数のパネル
 をマガジンから引き出す分離ロッド若しくは押し
 棒又はそれら両者を備えたベルトによつて、包装
 機に供給される。既知の引き出し装置には重大な
 欠陥があり、それらの欠陥の中で重要なものは、
 例えば、積重ねの重量の作用でパネルが彎曲する

ために間違つた数のパネルを引出すことである。
 その上、パネルがベルト上に落下する時に生ずる
 時に跳ね上つて正確な位置ぎめをくずすために、
 各押し棒により引き出されるパネルの数を減らす
 ことが困難である。

その上既知の装置は、現今の包装装置の高い動
 作速度を満足させるためには適当でない。

それ故、本発明の目的は、個々のパネルを分離
 しそれらのパネルを包装機供給ベルトの上に規則
 正しく置くための装置を提供することである。

この目的は、各支持装置が2つの上下に重なり
 合つた支持体で構成され、上方支持体は下方支持
 体によつて形成される面に平行でそれより上に横
 たわる面を形成し、前記支持体は、第1の位置に
 おいては上方支持体が積重ねの一番下のパネルを
 支持し、第2の位置においては上方支持体が引込
 められて前記一番下のパネルが下方支持体の上に
 置かれるようにし、第3の位置においては上方支
 持体が積重ねの前記一番下のパネルのすぐ上に横

たわるパネルを支持し、第4の位置においては下
 方支持体が引込められてその上に支持されていた
 パネルをパネルの取出し機構の上に置くように、
 パネル支持位置とパネル解放位置との間で駆動さ
 れるようになつてゐる。マガジンの底部に配置さ
 れた少なくとも3つの支持装置を具備することを
 特徴とする如の送り装置によつて達成される。

一層詳しい事項は、一例として添付図面に図示
 された本発明に依る装置の一実施例についての以
 下に記す説明からより明らかになるであらう。

第1図乃至第3図を参照すると、取出しベルト
 4の上に位置しパネル1の寸法を持つ四辺形の頂
 点に配置された4本のアングル材によつて事実上
 形成される垂直軸を持つたマガジン2の中に、既
 知のプリスタ・パネル1が積重ねられて図示され
 ている。

このパネル1の積重ねは、3つの支持装置3に
 よつて下方から支持され、各支持装置は、パネル
 1の厚みより僅かに小さい距離だけ間隔をあけた

上方支持体5a及び下方支持体5bによつて構成
 されている。

3組の上方及び下方支持体は、パネルの2つの
 平行で相対する縁端の下側と係合するように三角
 形の頂点の位置で互に同一平面上に配置されてい
 る。各支持体5a及び5bは、マガジン2の対応
 する開口を貫通してプリスタの隣接する縁端の下
 方に挿入される水平軸を持つた或る型の針状体か
 ら成る。支持体5a及び5bは、ブラケット7に
 よつてマガジン2に固定され支持体移動させて関
 連するパネルと係合離脱させるように配置された
 各別の電磁石6a及び6bによつて駆動される。
 1つには寸法上の理由で、また2つの支持体5a
 及び5bが接近していることのために、上方の支
 持体5aは板6cによつて関連する電磁石6aのロ
 ッドに連結されている。

上述の装置の動作は次の通りである。第3図に
 Aで示された第1の位置では、支持装置3の上方
 支持体5aがマガジンの中に入っている積重ねの

中の一番下のパネル1aを支持する。第2の位置Bでは、上方支持体5aが対応する電磁石6aを作動することによつて同時に引込められ、従つて積重ね全体が下方支持体5bの上まで降下する。第3の位置Cでは、上方支持体5aが再び前方位置へ移動されて、一番下のパネル1aのすぐ上に横たわるパネル1bの縁端の下側と係合する。最後に第4の位置Dでは、支持体5bが電磁石6bによつて引込められ、従つてパネル1aは取出しベルト4の上に降下することが出来るが、一方でその積重ねの残部は上方支持体5aによつて支持されたままになる。支持体5bが再び前方に移動されて、再び位置Aを占める。

上述の装置によつて個々のパネルは高速度で分離されるという事を注意すべきである。

その分離速度は、電磁石の動作の繰返し周波数を増減することによつて容易に調整される。その上、上方支持体5aと下方支持体5bとの間の距離を増大することによつて、ベルト4の上に解放

されるパネルの数を減らすことが出来る。

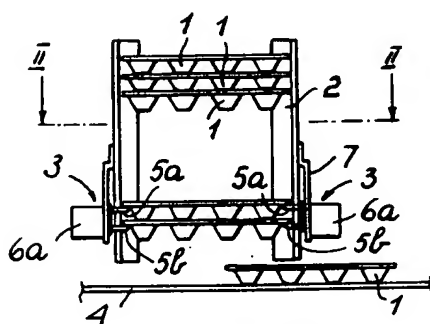
第4図に示された第2の実施例では、各支持装置は、パネルに対する支持体を形成するためその外周に沿つてねじ山を設けられた円板9によつて構成される。パネルがねじ山の終りに達するや否やベルト4の上に落下できるようにするため、円板は回転される。

本発明に依る装置は又、ベルト4の上に取出された製品の数を計数できるようにする。

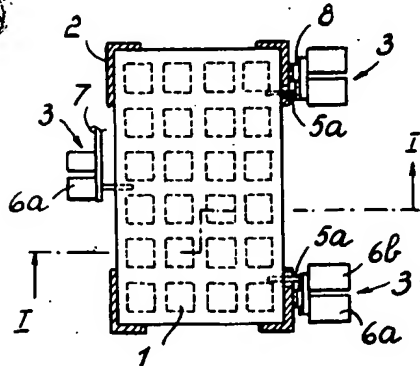
4. [図面の簡単な説明]

第1図及び第2図は本発明の第1実施例を示し、第1図は第2図の線I-I上の略立面図、第2図は第1図の線II-II上の平面図であり、第3図は第1実施例の装置の動作順序を示し、第4図は本発明の第2実施例の支持装置部分を示す。

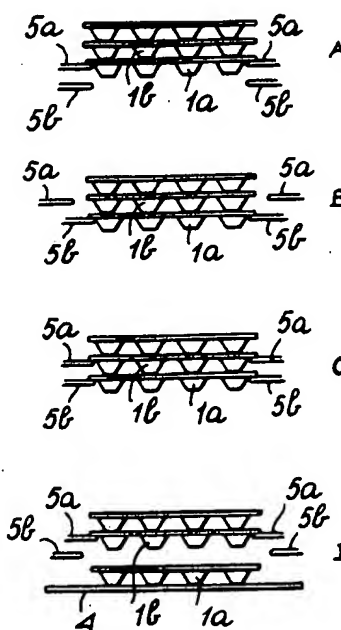
1, 1a, 1b...パネル、2...マガジン、3...支持装置、4...取出しベルト、5a, 5b...支持体、6a, 6b...電磁石、7...ブラケット、8...板材、9...ねじ山付き円板。



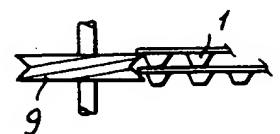
第1図



第2図



第3図



第4図